

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。紙面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、海外の先生にとって使いやすい教材「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っていると便利な図書・資料」などを取り上げます。

- データ凡例 ①著者 ②出版社 ③刊行年月 ④ISBN ⑤判型・ページ数 ⑥定価 ⑦その他

初級学習項目をしっかりと身につけるための参考書

『どなたときどう使う日本語表現文型200 初・中級』



データ

①友松悦子、宮本淳、和栗雅子 ②発  
行：アルク（〒168 8611 東京都杉  
並区永福2 54 12 / TEL .03 3323  
5514 FAX .03 3323 2021） ③2000年  
2月20日 ④A 7574 0174 4 ⑤A 4 判  
237ページ ⑥2 415円

これから中級へ進もうとする  
学習者へ

これは初級の学習を半分ぐらい（150時間）終えた人で、これから中級へ進もうという人のための本です。初級の文法項目と基本文型にたいする理解と整理をかためることで、中級での学習をよりスムーズにするための参考書です。

基本的な表現の形を身につける

全体は20の本課と5つの[まとめ]できています。本課は文法項目と意味機能に

能にしたがって分けられています。文法項目とは例えば「使役、受身、条件、推量」などです。意味機能とは例えば「時間関係、原因・理由、依頼・命令、許可・禁止・義務、伝聞、意志」などです。[まとめ]には、本課とは別に、意味や使い方がたくさんある文法項目（「は」と「が」、「Vている」など）が整理してあります。

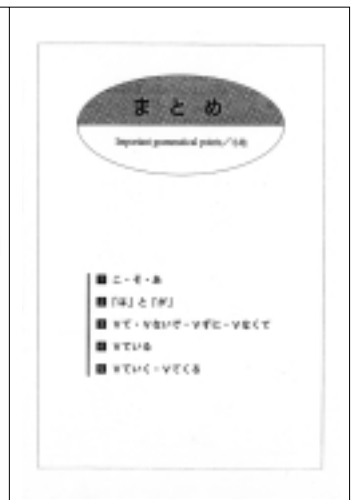
各課では次のようなことをします。まず、「知っていますか」と「使えますか」という課題をやります。ここはその課の項目について、どのぐらいのことを知っているかチェックするところです。続く本文では、一つ一つの項目について多くの例文を読み、意味と用法を確認します。この項目には、初級項目でありながら、用法の一部が中級でもあまり取り上げられない項目（「～たり～たり」、「～はずです」など）も含まれています。

例文を理解する上では、用法についての説明と注意点が書いてある[ポイント]が役に立ちます。また、各課の最後には

[練習]があります。本の最後に答えがありますから、自分でチェックできます。

重要な項目には詳しい説明

本書の特色の一つは、特に重要な項目を選び、それについて丁寧な説明を加えることです。[ポイント]の内容を見てもそれが分かりますが、ここでは[コラム]を見てみましょう。[コラム]は全部で8つあります。内容は、例えば「名詞の修飾」、「主語が三人称の時に気をつけること」、「継続動詞が瞬間動詞か」、「文末に気をつけよう」などです。どれも初級学習者が間違えやすかったり、正確に理解するのが難しい文法項目ですが、これから中級へ進む上で、理解しておきたいへん役に立つものばかりです。本書のもう一つの大きな特長は、例文が初級の語彙だけで書かれていること、さらに、説明の文には英語と中国語で翻訳がついていることなどから、自習しやすくなっていることです。



丁寧な解説と豊富な練習で、楽しく、無理なく、確実に  
『げんき I・II』



データ

**げんき II** ■坂野永理、大野裕、坂根庸子、品川恭子、渡嘉敷恭子 ■発行: The Japan Times (〒108 0023 東京都港区芝浦4 5 4 / TEL 03 3453 2013 FAX 03 3453 8023) ■1999年10月4日 7890 0982 3 ■A 4判353 ページ ■63,150円 別売ワークブック ■2000年2月4日 7890 1002 3 ■A 4判122ページ ■61,575円 別売C D (6枚組) ■1999年11月20日 44 7890 0987 4 ■6枚組 ■18,900円

**げんき I** ■坂野永理、大野裕、坂根庸子、品川恭子 ■1999年5月4日 7890 0963 7 ■A 4判344ページ ■63,150円 別売ワークブック ■2000年2月4日 7890 1001 5 ■A 4判136 ページ ■61,575円 別売C D (6枚組) ■1999年11月20日 44 7890 0986 6 ■5枚組 ■18,900円

『げんき』ははじめて日本語を学ぶ人のための教材です。教科書は「会話・文法編」と「読み・書き」編の2つの部分にわかれています。教科書のほかに、CDとワークブックが別に販売されています。教師用指導書も今後出版される予定です。

学習者が自分で勉強できます

『げんき』は第I巻・第II巻の全23課で初級日本語の学習が終わるようになっています。対象は、大学生、高校生、社会人ですが、ひとりで日本語を勉強する人にも向いています。学習者が自分で予

習・復習しやすい理由は...

- ①イラストがたくさんあって、場面・状況 (context) がわかりやすいです。
- ②教科書の練習は基本から応用まで豊富で、ワークブックもあるので、たくさん練習できます。
- ③文法説明にも例がたくさんあります。
- ④文法説明、会話、単語、練習の指示が英語で書いてあるので、英語がわかる学習者には便利です
- ⑤別売りのCDを使えば、何度でも聞き取り練習ができます。

四技能がこの1冊で勉強できます

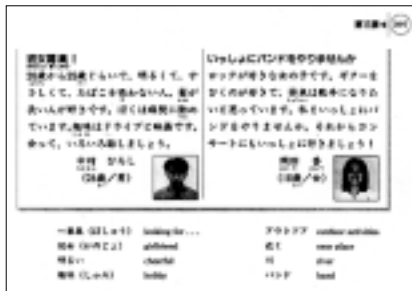
各課に「会話・文法」編と「読み・書き」編があって、第1課から「話す・聞く・読む・書く」の四技能がバランスよく総合的に勉強できるようにになっています。たとえば、第10課の「会話・文法」編では「～たい、～たり～たり」という文型を使いますが、同じ第10課の「読み・書き」編ではその文型が入った読み物を読みます。また、その読み物は生の記事に近い雑誌の「友だち募集 (図版1) つまり、現実社会に近いものになっています。現実社会のどんな場面・状況でこの文型を使うかが想像できますから、学習者の動機づけにもなります。漢字も楽しみながら練習できるようにゲームなどが豊富です。

使える日本語をめざしています

「会話・文法」編では、基本練習から応用練習 (実際場面に近い練習) まで段階的に練習できます。第15課「長野旅行」(学習項目は意向形) を例にとると、次のようになります。



図版1 I巻 P.306



I巻 P.307

①動詞

の活用練習

例 行く 行こう

②機能を考えた談話練習

次の会話例を使って、いろいろな場面面で相手を誘う練習です。イラストがあるので、各場面の状況はすぐにわかります。

A: 飲もうよ。

B: うん、そうしよう / うーん、ちょっと。

③応用練習

ペアワーク: 意向形を使って、4日間の旅行計画 (何日にどこに行くか) をたてます。

全23課の話題は、日本にきた留学生とその友人・家族を中心に展開します。第I巻は「あたらしいともだち、かいもの、デートの約束、初めてのデート、沖縄旅行、ロバートさんの一日、家族の写真、パーティー、かぶ

き、冬休みの予定、休みのあと、病気」第II巻は「アルバイト探し、パレンタインデー、長野旅行、忘れ物、ぐちとうわさ話、ジョンさんのアルバイ

ト、出迎え、メアリーさんの買い物、どろぼう、日本の教育、別れ」

日常生活で実際に経験しそうな場面・話題が設定されています。



図版2 II巻 P.59~60

p.18~21は、以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

内藤満、柴原智代、向井園子、磯村一弘、藤長かおる、高偉建 (執筆順)



